

# 社 会 科

## 社会科研究主題

よりよい社会の形成をめざして考え続ける市民の育成

公開授業 学級：1年2組 授業者：内田 修太郎

単元名：北アメリカ州

授業の見どころ① 一次資料としての地図を最大限活用する。

教科書や資料集には、地形図や分布図など、たくさんの地図が掲載されています。しかし、同時に地図から読み取れる二次的な情報が丁寧にまとめられているからこそ、地図を活用した実践を十分に展開できていないのではないかと考えました。

加えて、GIS（地理情報システム）に誰もが簡単にアクセスすることができるような便利な時代です。アクセスしやすいツールに偏って、特定の見方からしか地図を活用できていないことで、見落とししている情報もあるのではないのでしょうか。

そこで、今回の授業では、地図にフォーカスをあて、複数の地図を活用する授業にチャレンジします。GISの基になった、古典的な手法であるトレーシングペーパーの活用の可能性を、人文地理学の専門家と共に模索します。地図の重ね合わせを生徒自ら行うことで、生徒自身で地域の課題や共通点などを見出す、主体的な学習になることを目指します。一次資料としての地図の魅力、再発見してみませんか？

授業の見どころ② 現実の社会問題を批判的に追究する。

これからの時代は予測不可能な時代と言われています。社会は日々変化し、様々な社会問題が表面化しています。このような時代に生きるこれからの生徒たちは、様々な社会問題から目を背け、棚上げするのではなく、最適解や納得解を導き出す必要があります。

そこで今回の授業では、実際の社会問題を教室内に持ち込みます。生徒にとって考え続けるべき学習課題を設定することで、現代社会のウェルビーイングを追究します。

本時では、学習課題の設定を、生徒自身に見出させた社会問題から試みます。アメリカ合衆国が抱える課題を、地図から読み取り表出化させます。その際、現在の社会のシステムなどを批判的に追究するようにします。

ウェルビーイングな社会の実現に向けて、粘り強く考え続けようとする生徒の姿をぜひご覧ください。